2027年3月期　第2四半期決算説明会



2026年11月10日　スズキ株式会社

サマリー｜ 2027年3月期 第2四半期決算・通期予想

■原材料高騰影響が引き続き拡大するも、稼ぐ力の向上の継続により増収増益

■通期予想は原材料価格の上昇に対し、稼ぐ力の向上を織り込み、営業利益は据え置き

2027年3月期 第2四半期決算

・売上収益 3兆4,192億円、営業利益 2,916億円、営業利益率8.5％
・原材料高騰影響の拡大を、日本など各拠点での稼ぐ力の向上の継続で吸収し増収増益
・売上収益については6期連続増収で過去最高。各利益項目で2期ぶりの増益を達成

2027年3月期 通期予想

・原材料価格の上昇等を、インドを中心とした販売台数の増加でカバーし、営業利益を据え置く
・チームスズキで全体最適を追求、環境変化に対し柔軟に連携し、稼ぐ力を向上していく

配当

・中間配当　　25円
・年間配当予想　51円　DOE3.0%　（前回予想から据え置き）

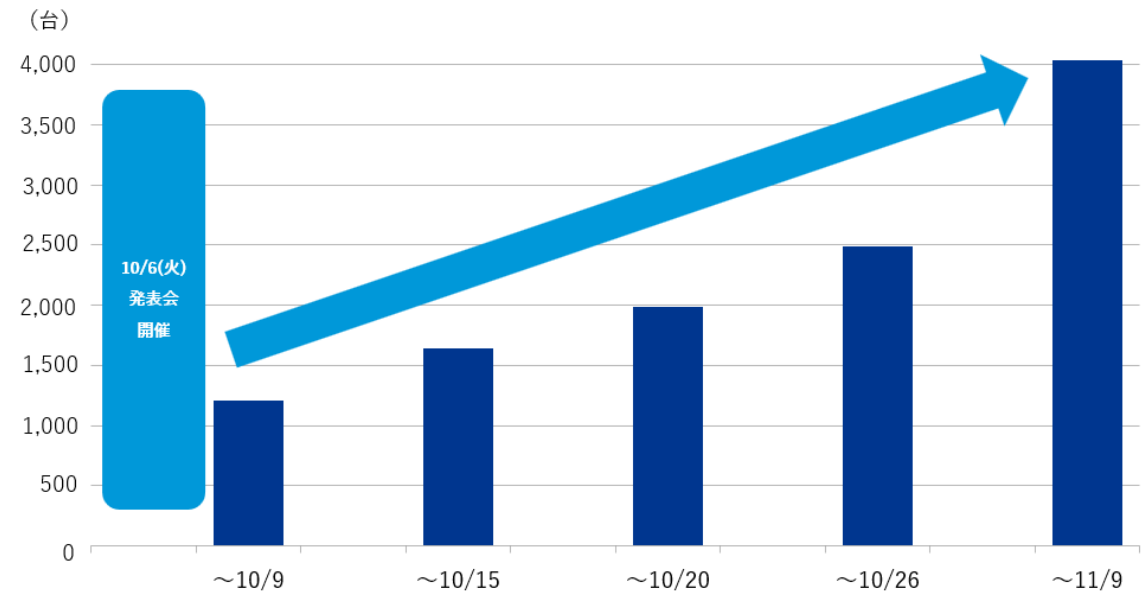
© Suzuki Motor Corporation, 2026. All rights reserved.

トピック1：新型「e SKY」の初期受注状況

■スズキ初の軽乗用EV、新型「e SKY」を11月16日より発売

■受注開始約1か月で4,036台の受注をいただき、順調な立ち上がり

新型「e SKY」受注状況推移(累計)



●軽乗用EVの新型「e SKY」発売

・ガソリン車から違和感なくEVへ乗り換えていただけることを目指した「Easy to Switch」が開発コンセプト
・スズキの行動理念である「小・少・軽・短・美」を追求、軽量化・効率化を徹底
・一充電走行距離310km、国内乗用車EVナンバーワンの“電費”、最小回転半径を実現



新型「e SKY」

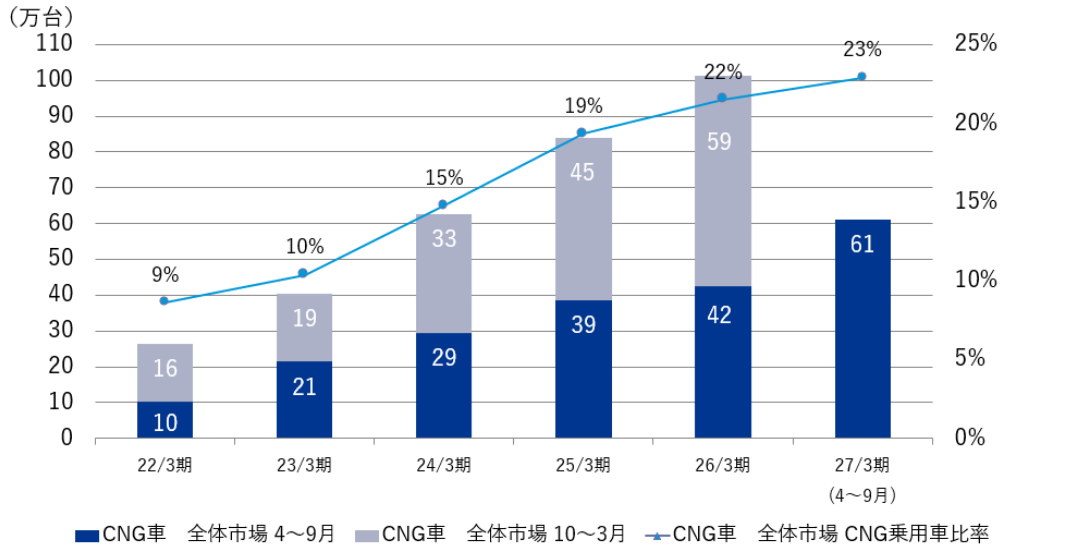
© Suzuki Motor Corporation, 2026. All rights reserved.

トピック2(1)：CNG車市場の動向と当社の取り組み

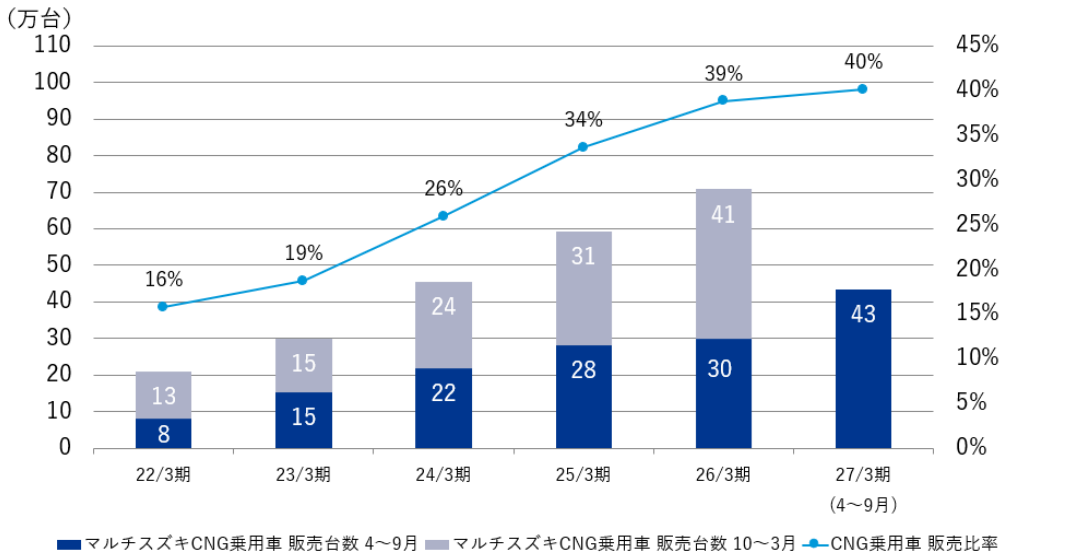
■インド乗用車市場においてCNG車の販売台数・比率は近年急速に拡大

■マルチスズキはCNG車のラインアップを充実させ、27年3月期上期のシェアは7割超

インド　CNG乗用車全体市場



マルチスズキ　CNG乗用車販売



© Suzuki Motor Corporation, 2026. All rights reserved.

トピック2(2)：CNG車市場の動向と当社の取り組み

■CNG対応モデルとして新型「ブレッツァ」等を展開

■CNGタンクを車体下部に配置し、CBG(バイオガス燃料)も使用可能

従来車

荷室内にタンクを配置



配置変更

新型ブレッツァ

車体下部にタンクを配置



荷室を広く使える

商品性向上：積載性を確保しながら、CNG車の環境性能を提供

© Suzuki Motor Corporation, 2026. All rights reserved.

トピック3：エネルギー領域の取り組みとしてのバイオガス事業およびCBGの環境効果

■ 2027年以降、グジャラート州で新たに2か所のバイオガス・プラントを稼働予定

■ TERIレポートではCBGはカーボンニュートラル/ネガティブとなり得るとの評価

●新たに2か所のバイオガス・プラントの定礎式を実施

- スズキ100%子会社のSRDIを通じ、グジャラート州に9か所のバイオガス・プラントを建設する計画のうち、新たに2か所の定礎式が、10月にモディ首相臨席のもと執り行われた
- 両プラントは2027年以降に稼働開始を予定
- 「日印CBGイニシアティブ」に基づく、1,000基のバイオガス・プラント導入にも今後、取り組んでいく
- インドの農村に豊富に存在する資源を有効活用し、地域の経済発展に貢献



写真提供：インド政府 Press Information Bureau(PIB)

●TERIレポートによるCBG利用の評価

- 9月にTERI(インドエネルギー資源研究所)*が燃料政策に関するレポートを発表
- CBGはライフサイクルで<u>カーボンニュートラル/ネガティブ</u>（原料や製造プロセス等の条件による）となり得るとの評価

*TERI…1974年設立のインドのエネルギー・環境・持続可能な開発分野を代表する研究機関の一つ。
インド政府の科学技術ポータルでも、持続可能な開発に関する “leading think tank” と紹介されている。
TERI: Innovative Solutions for Sustainable Development - India

© Suzuki Motor Corporation, 2026. All rights reserved.

トピック4：「インフラモビリティ」におけるサービスモビリティ領域の取り組み

■統合報告書において「インフラモビリティ」としての新たな価値の提供を特集

■サービスモビリティ領域では公共交通サービスとワークモビリティの2軸で新事業を展開

公共交通サービス

・グライドウェイズ協業事業



・スカイドライブ協業事業



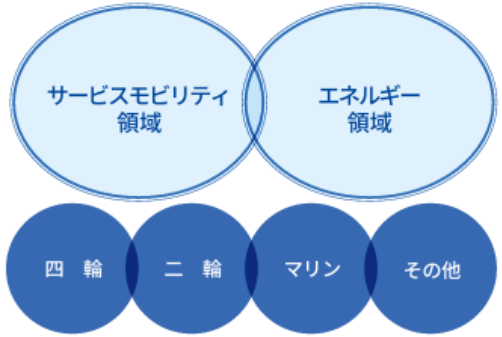
©株式会社 SkyDrive

ワークモビリティ

・多目的電動台車「MITRA」



2030 年度目標　売上収益 500 億円



・サービスモビリティ領域(公共交通サービス・ワークモビリティ)・エネルギー領域(バイオガス事業・蓄電事業)で新事業を展開し、2030年度売上収益500億円を目指す

・スタートアップとの協業や地域との共存共栄に取り組む

・MITRAは11/30(月)、グライドウェイズ/スカイドライブは12/10(木)に事業説明会を開催予定

© Suzuki Motor Corporation, 2026. All rights reserved.

目次

サマリー …… 2

トピックス …… 3～7

2027年3月期第2四半期決算 …… 9～17

- 総括 …… 9
- 四半期毎の業績 …… 10
- 営業利益増減要因 …… 11
- 四輪・二輪台数実績 …… 12～17

通期業績予想 …… 18～22

- 総括 …… 18
- 営業利益増減要因 …… 19・20
- 四輪・二輪台数情報 …… 21・22

補足資料 …… 23～33

© Suzuki Motor Corporation, 2026. All rights reserved.

2027年3月期 第2四半期決算｜総括

■売上収益は主にインドでの販売台数増加により増収

■営業利益は原材料高騰影響を、稼ぐ力の向上により吸収し増益

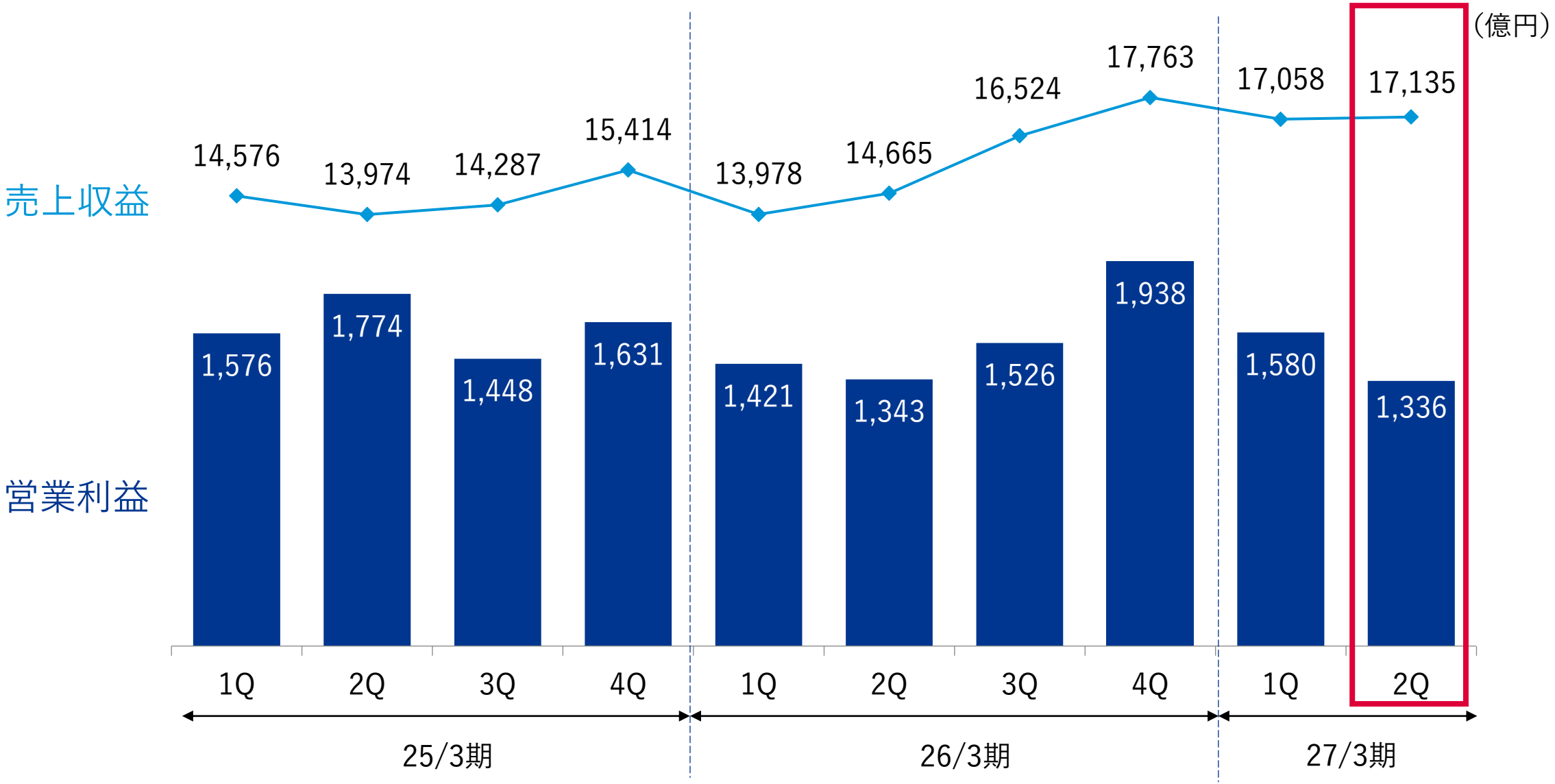
■税引前利益および中間利益は金融資産の評価益等により増益

（億円）		当第2四半期 ('26/4-9)	前年同期 ('25/4-9)	増減	増減率	補足
連結業績	売上収益	**34,192**	28,642	＋5,550	＋19.4%	6期連続増収、過去最高
	営業利益 （利益率）	**2,916** **(8.5%)**	2,765 (9.7%)	＋151	＋5.5%	2期ぶり増益
	税引前利益 （利益率）	**4,014** **(11.7%)**	3,322 (11.6%)	＋692	＋20.8%	2期ぶり増益、過去最高
	中間利益※ （利益率）	**2,537** **(7.4%)**	1,928 (6.7%)	＋609	＋31.6%	2期ぶり増益、過去最高
為替レート	米ドル	**159円**	146円	＋13円	＋8.9%	
	ユーロ	**184円**	168円	＋16円	＋9.5%	
	インドルピー	**1.69円**	1.70円	▲0.01円	▲0.6%	
世界販売	四輪車	**1,824千台**	1,522千台	＋302千台	＋19.9%	インド、パキスタン等で増加
	二輪車	**1,167千台**	1,111千台	＋56千台	＋5.0%	インド、コロンビア等で増加

※ 中間利益は親会社の所有者に帰属する中間利益

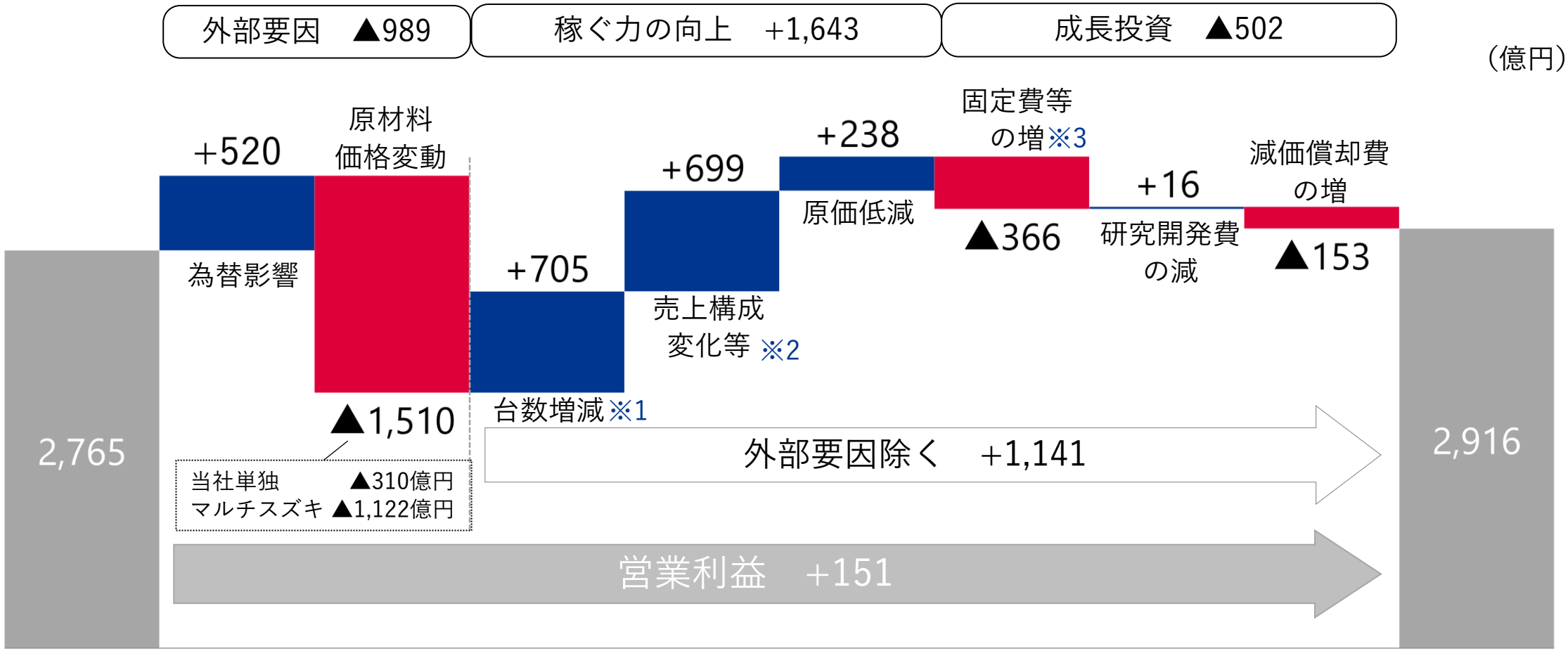
© Suzuki Motor Corporation, 2026. All rights reserved.

2027年3月期 第2四半期決算｜四半期毎の業績



© Suzuki Motor Corporation, 2026. All rights reserved.

2027年3月期 第2四半期決算｜営業利益増減要因



前年同期
’25/4-9

※1 台数増減影響 主な内訳
- 当社単独　+79億円
- マルチスズキ　+585億円

※2 売上構成変化等 主な内訳
- 当社単独　+194億円
- マルチスズキ　+443億円

※3 固定費等の増 主な内訳
- 労務費　▲204億円

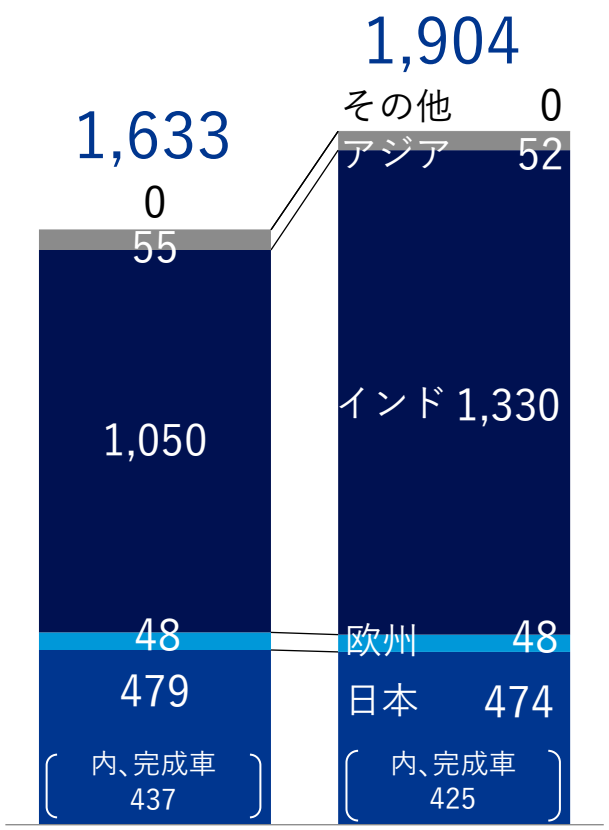
当期
’26/4-9

© Suzuki Motor Corporation, 2026. All rights reserved.

四輪台数実績｜グローバル

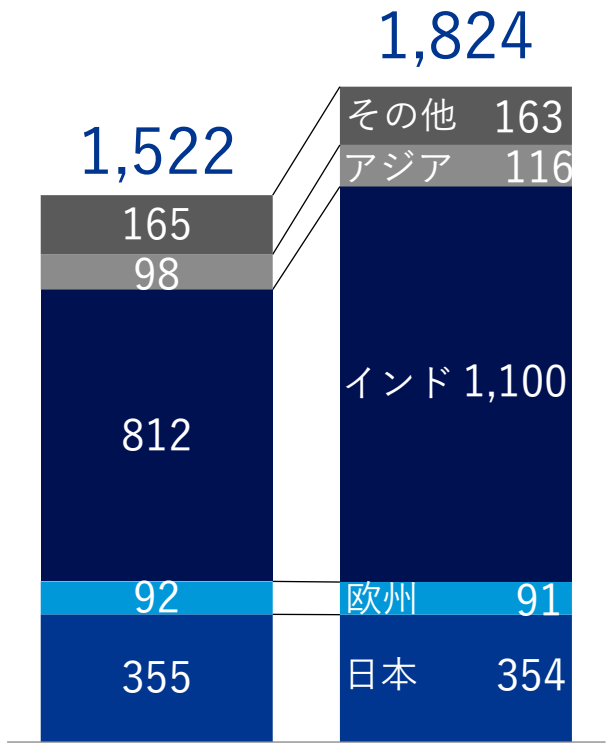
生産実績

+271（+16.6%）(千台)



販売実績

+302（+19.9%）(千台)



● 当期の世界販売

（千台）

	台数	前年同期比	
世界販売	1,824	+302	+19.9%
日本	354	▲1	▲0.3%
欧州	91	▲0	▲0.4%
インド	1,100	+288	+35.4%
アジア（除インド）	116	+18	+18.6%
パキスタン	54	+11	+26.7%
インドネシア	35	+5	+17.8%
フィリピン	9	▲2	▲19.5%
その他	163	▲2	▲1.4%
アフリカ	66	+4	+5.8%
中南米	64	+4	+7.6%
中東	23	▲9	▲28.8%
大洋州	10	▲1	▲11.7%

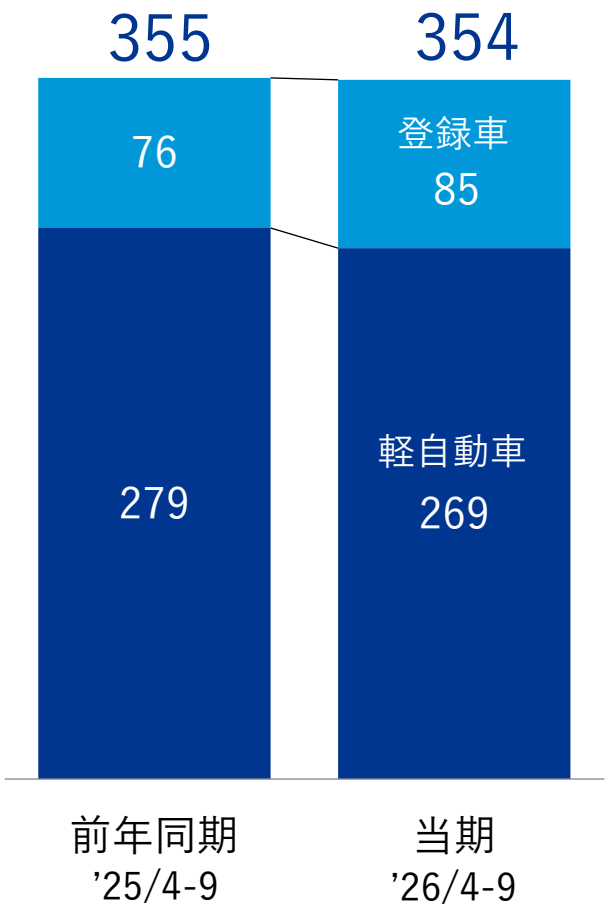
© Suzuki Motor Corporation, 2026. All rights reserved.

四輪販売台数｜日本

販売実績

（千台）

▲1（▲0.3%）



● 当期の販売状況

・軽自動車と登録車の合計販売台数は、上期では7期連続のシェア2位
・軽自動車では「スーパーキャリイ」等が好調
・登録車では「クロスビー」、「ジムニーノマド」等が高水準を維持

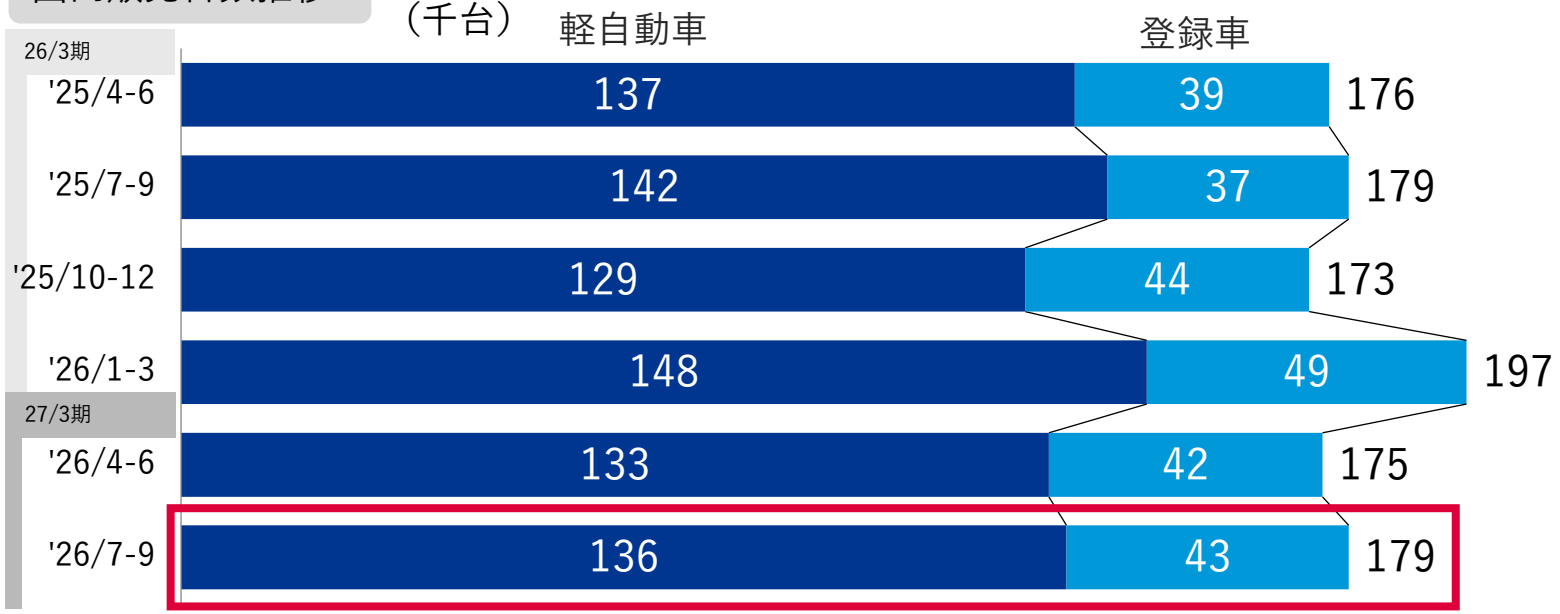
「スーパーキャリイ」



「ジムニーノマド」



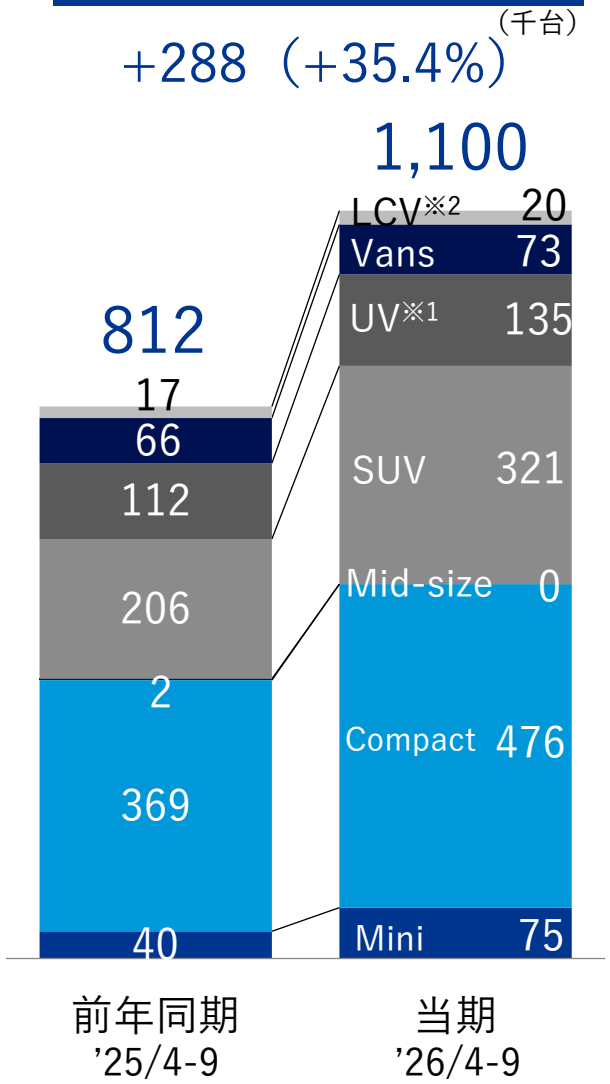
国内販売台数推移



© Suzuki Motor Corporation, 2026. All rights reserved.

四輪販売台数｜インド

国内卸販売実績



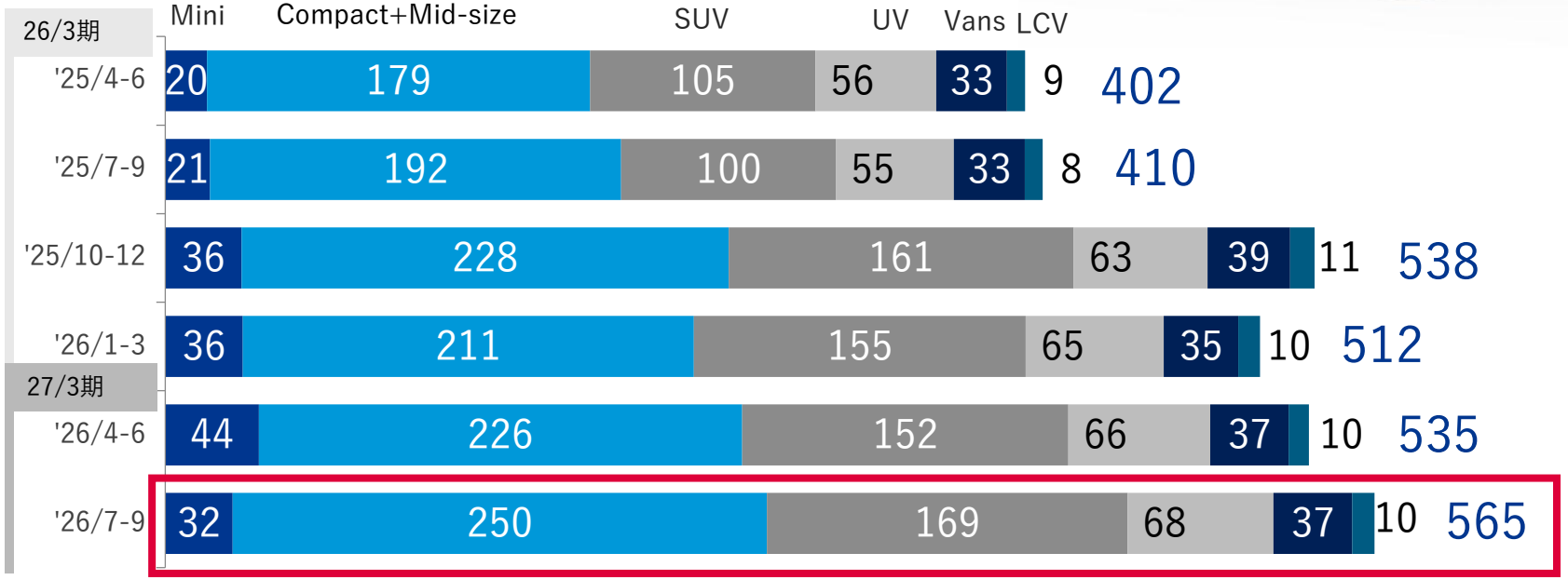
● 当期の出荷状況

- 国内卸販売台数は、GST改定の追い風が続き、110万台(前年同期比＋35%)と増加
- 輸出台数は23万3千台(前年同期比+12%)と増加
- CNG車(商用車含む)が45万台(前年同期比+44%)と好調
- カルコダ第二ライン、ハンサルプール第四ラインが稼働開始



新型「バレーノ」

国内卸販売台数の内訳 (千台)



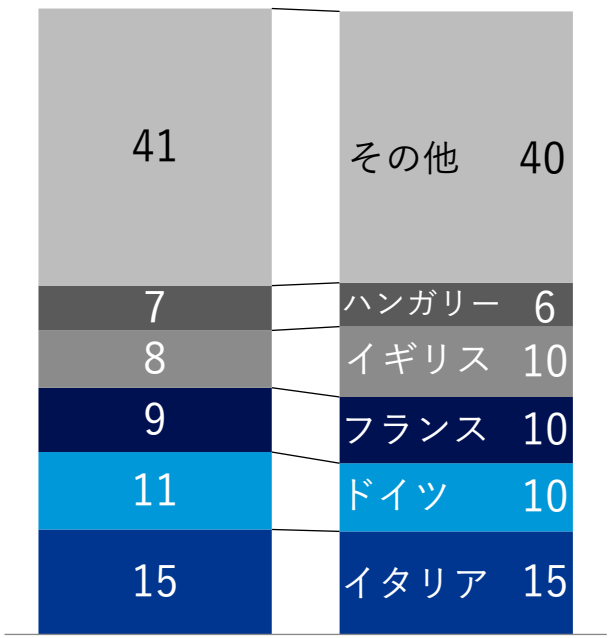
注．商用車(LCV)を含む卸販売実績、OEMは除く
※1 UV=Utility Vehicles（Ertiga等）※2 LCV=Light Commercial Vehicles

© Suzuki Motor Corporation, 2026. All rights reserved.

四輪販売台数｜欧州 / アジア（インド除く）

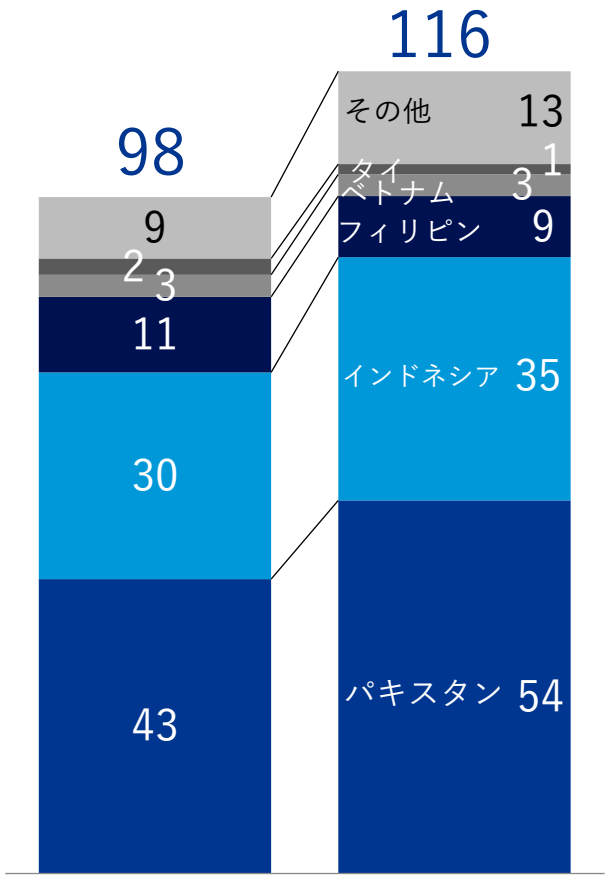
欧州

▲0（▲0.4%）（千台）



アジア（インド除く）

+18（+18.6%）（千台）



● 当期の販売状況

◆ 欧州

・市場競争が激化するなか、販売実績は前年同期並み

◆ パキスタン

・堅調な需要により全体市場は伸長
・外貨不足からの回復に伴い生産部品の輸入も比較的安定
・販売実績は5万4千台(前年同期比+26.7%)と拡大

◆ インドネシア

・販売実績は3万5千台(前年同期比+17.8%)と拡大
・7月末より、7人乗りSUVの「XL7」を外観変更して投入



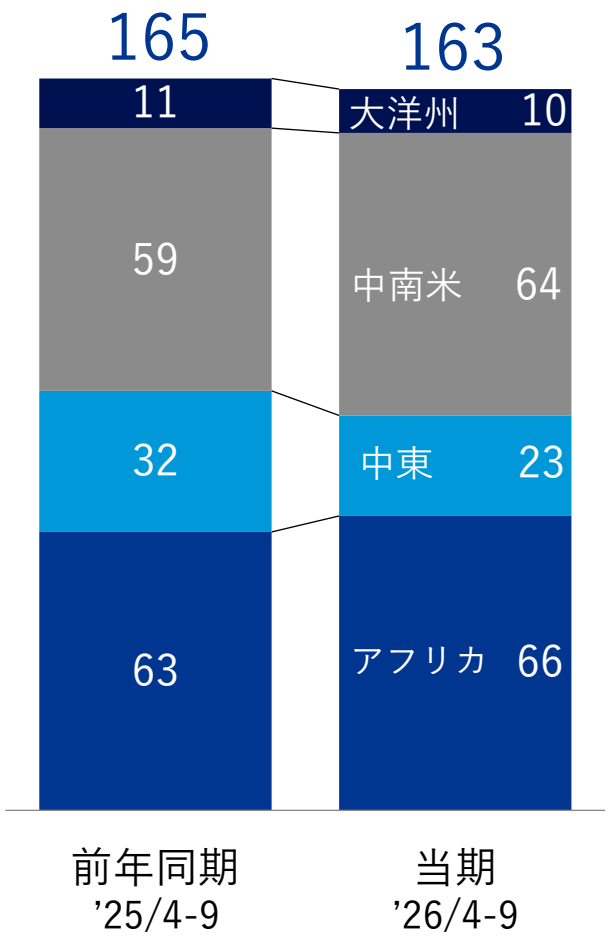
「XL7」

© Suzuki Motor Corporation, 2026. All rights reserved.

四輪販売台数｜アフリカ・中東・中南米・大洋州

販売実績

▲2（▲1.4%）（千台）



● 当期の販売実績

（千台）

	台数	前年同期比	
アフリカ	66	+4	+5.8%
南アフリカ	36	+0	+0.3%
アンゴラ	11	+2	+21.8%
中東	23	▲9	▲28.8%
サウジアラビア	16	▲3	▲18.0%
中南米	64	+4	+7.6%
メキシコ	14	▲4	▲22.5%
チリ	11	+0	+0.4%
コロンビア	10	+3	+48.5%
大洋州	10	▲1	▲11.7%

● トピックス

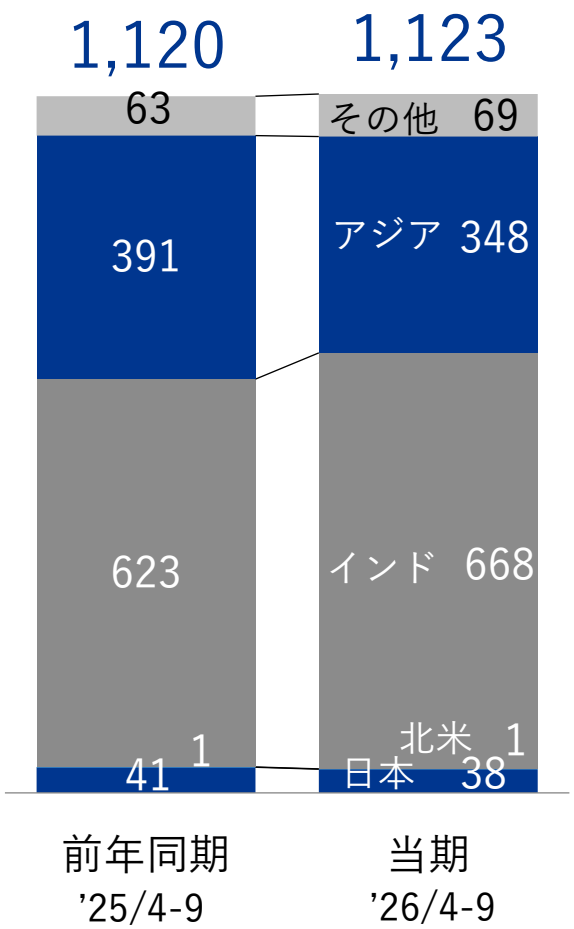
- アフリカではアンゴラの販売が前年同期比21.8%増でシェア1位(75.1%)と好調
- 中南米での販売が堅調で、特にコロンビアで販売台数を大幅拡大
- 中東ではイラン情勢の影響を受け減少

© Suzuki Motor Corporation, 2026. All rights reserved.

二輪台数実績｜グローバル

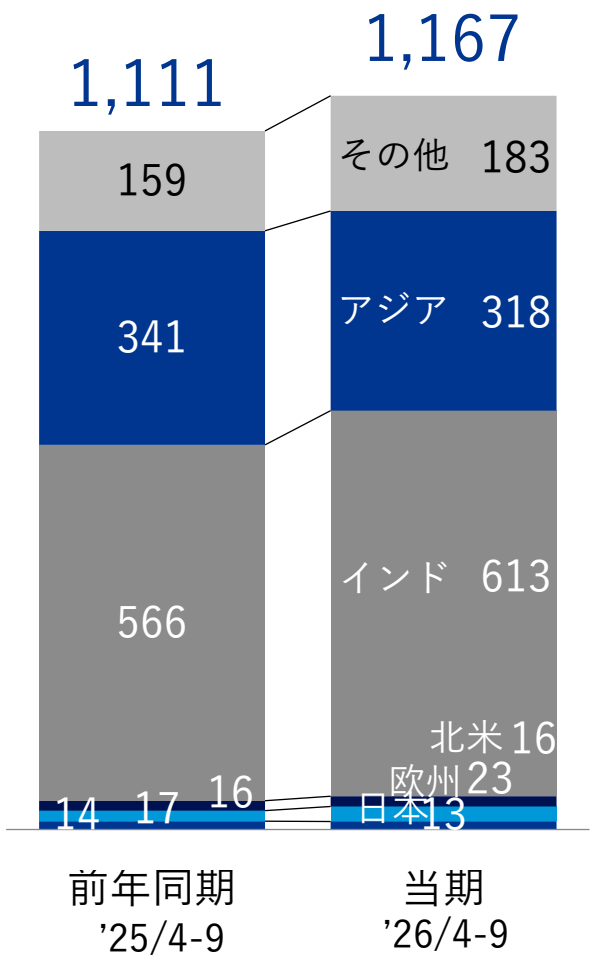
生産実績

+3（+0.3%）（千台）



販売実績

+56（+5.0%）（千台）



●トピックス

◆EICMA2026 で新型「GSX-10R」と新型「SV-7S」を発表

・スズキの二輪づくりの思想を継承し、現代のライダーの要求に応えるパッケージとした
・「GSX-10R」 は 2027年夏頃、「SV-7S」 は 2027年春頃より各国で順次販売を開始する予定


新型「GSX-10R」


新型「SV-7S」

◆7月に二輪車・ATVの世界累計生産台数1億台を達成

・1952年の「パワーフリー号」の発売以来、幅広いラインアップを取り揃え全世界で販売
・二輪車：9,740万台、ATV：277万台

© Suzuki Motor Corporation, 2026. All rights reserved.

通期業績予想｜総括

■営業利益は原材料価格の上昇等を、インドを中心とした販売台数の増加でカバーし、前回予想を据え置き

■税引前利益は、前回予想から300億円下方修正も、当期利益は据え置き

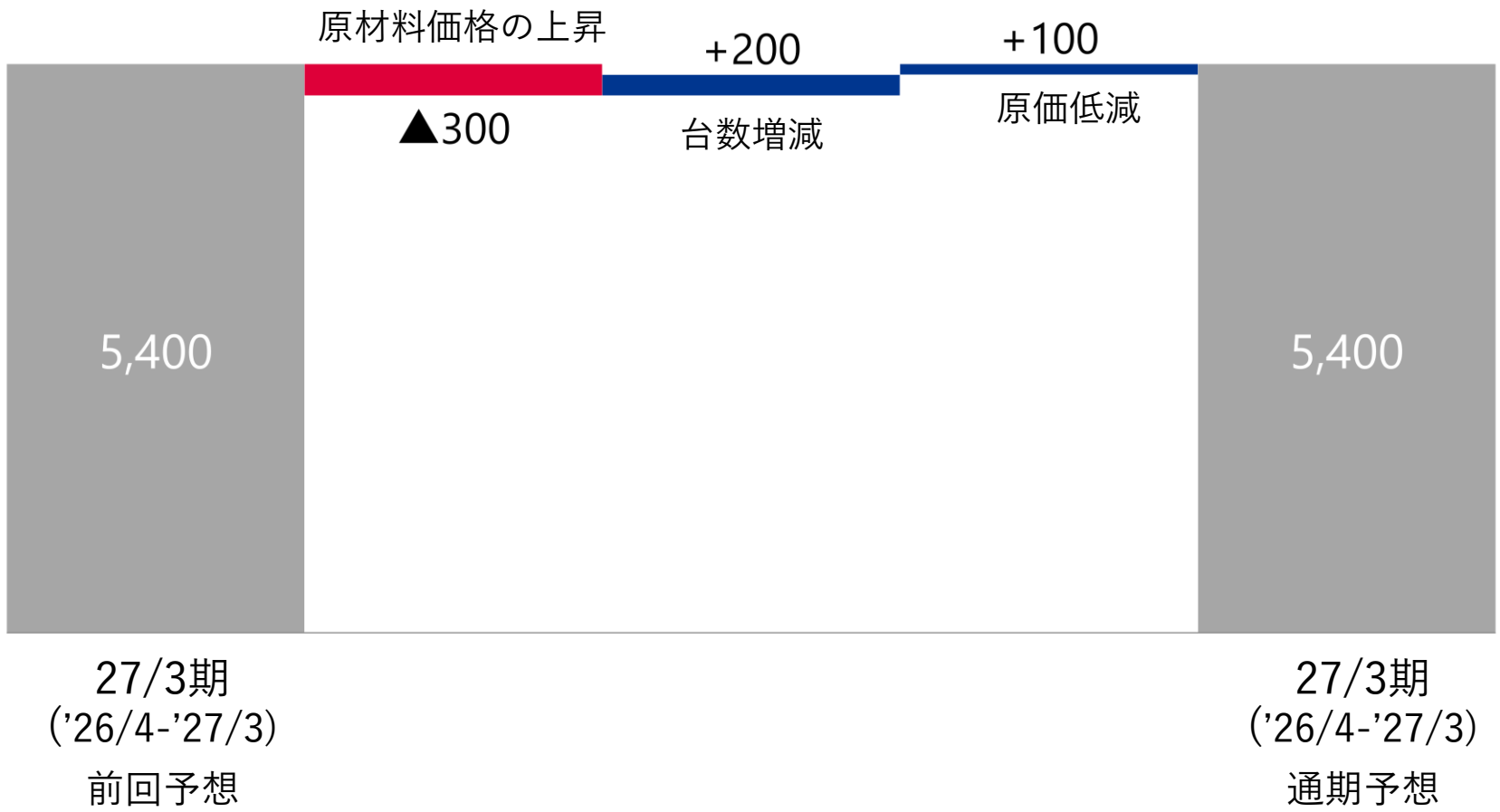
(億円)		通期予想 ('26/4-'27/3)	前期実績 ('25/4-'26/3)	増　減	増減率	補足	前回予想との比較 前回予想	前回予想との比較 増減
連結業績	売上収益	69,000	62,930	＋6,070	＋9.6%	6期連続増収	69,000	
	営業利益	5,400	6,229	▲829	▲13.3%	2期連続減益	5,400	
	(利益率)	(7.8%)	(9.9%)				(7.8%)	
	税引前利益	6,900	7,307	▲407	▲5.6%	7期ぶり減益	7,200	▲300
	(利益率)	(10.0%)	(11.6%)				(10.4%)	
	当期利益※	4,200	4,393	▲193	▲4.4%	7期ぶり減益	4,200	
	(利益率)	(6.1%)	(7.0%)				(6.1%)	
為替レート	米ドル	159円	151円	＋8円	+5.5%		158円	＋1円
	ユーロ	181円	175円	＋6円	+3.6%		183円	▲2円
	インドルピー	1.68円	1.72円	▲0.04円	▲2.3%		1.68円	
世界販売	四輪車	3,702千台	3,320千台	＋382千台	＋11.5%		3,579千台	＋122千台
	二輪車	2,398千台	2,261千台	＋137千台	＋6.1%		2,337千台	＋60千台

※ 当期利益は親会社の所有者に帰属する当期利益

© Suzuki Motor Corporation, 2026. All rights reserved.

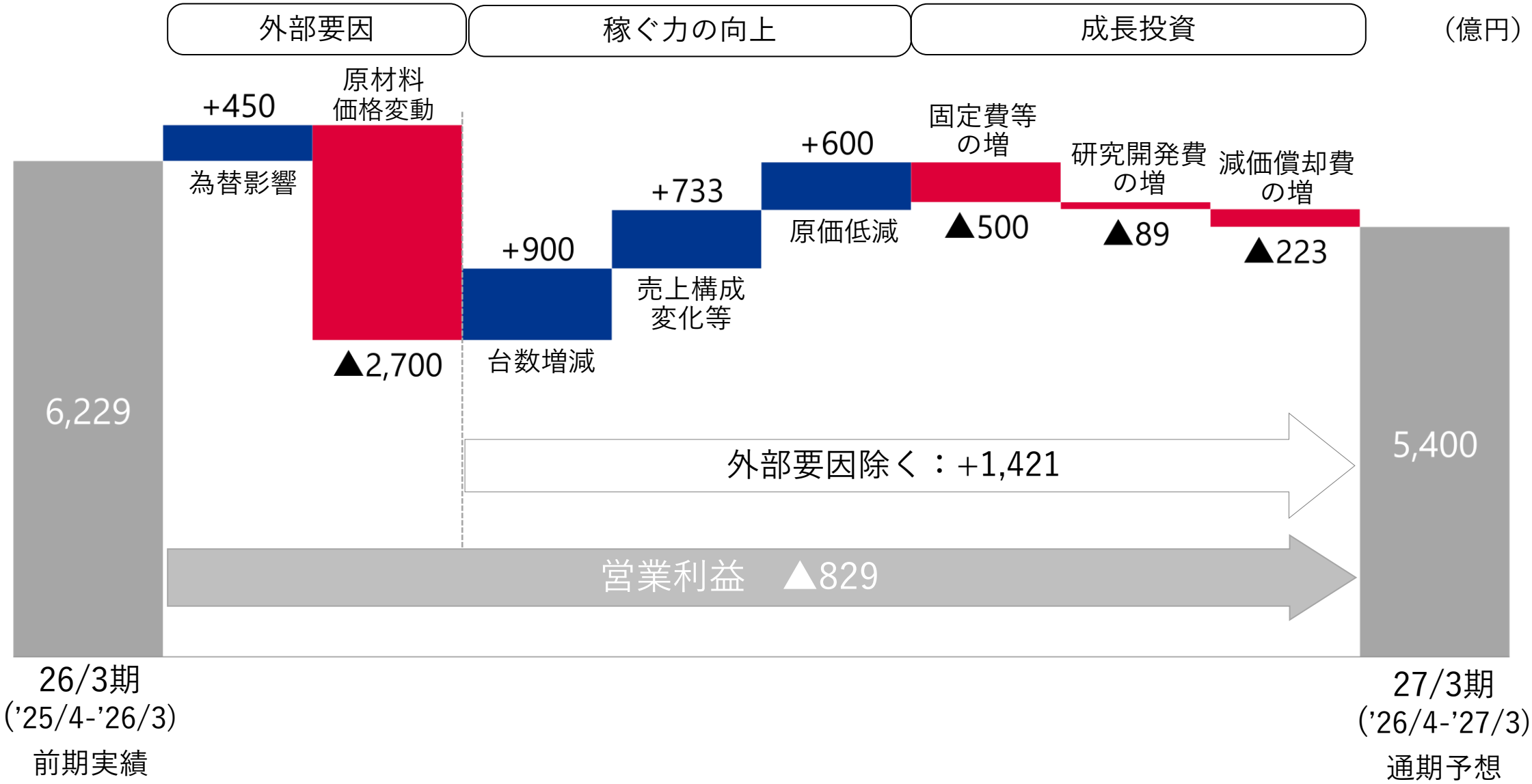
通期業績予想｜営業利益増減要因・対前回予想

（億円）



© Suzuki Motor Corporation, 2026. All rights reserved.

通期業績予想｜営業利益増減要因・対 26/3期実績

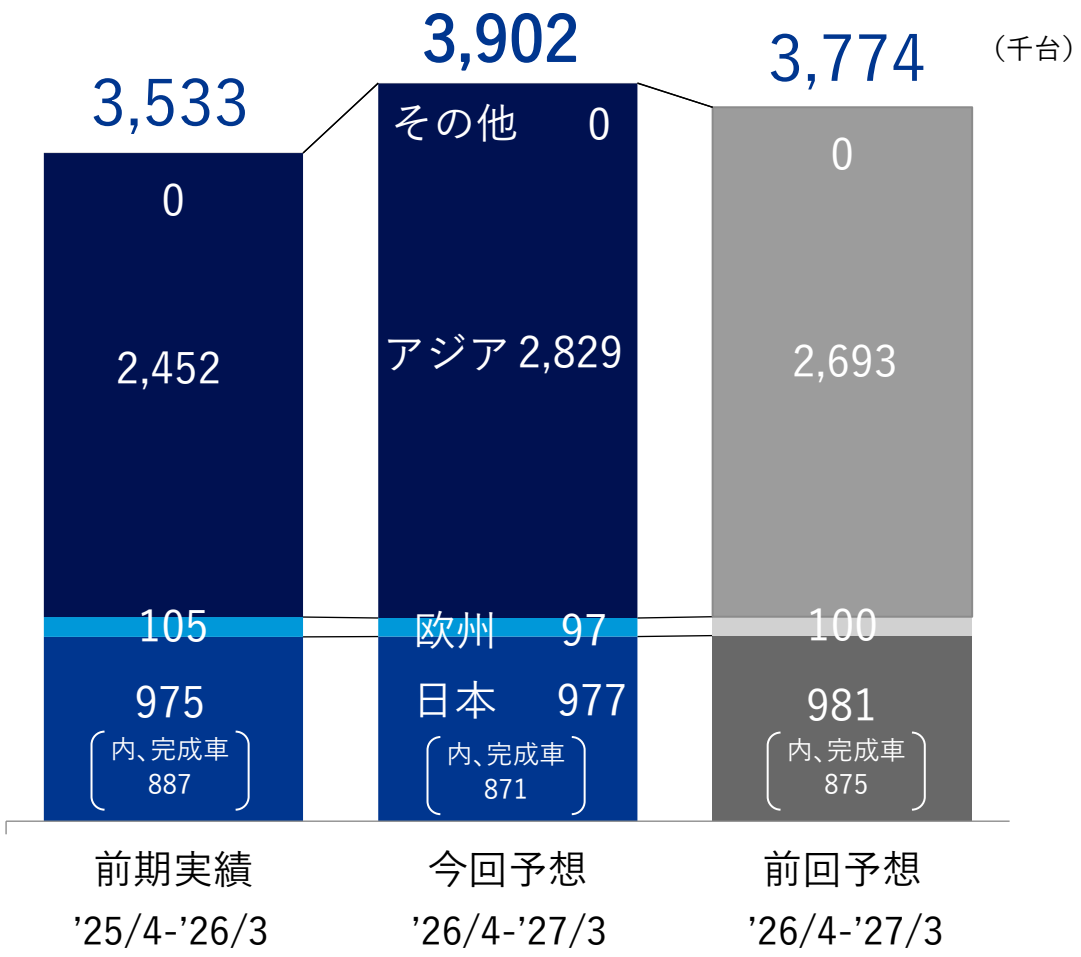


© Suzuki Motor Corporation, 2026. All rights reserved.

通期業績予想｜四輪生産台数・販売台数

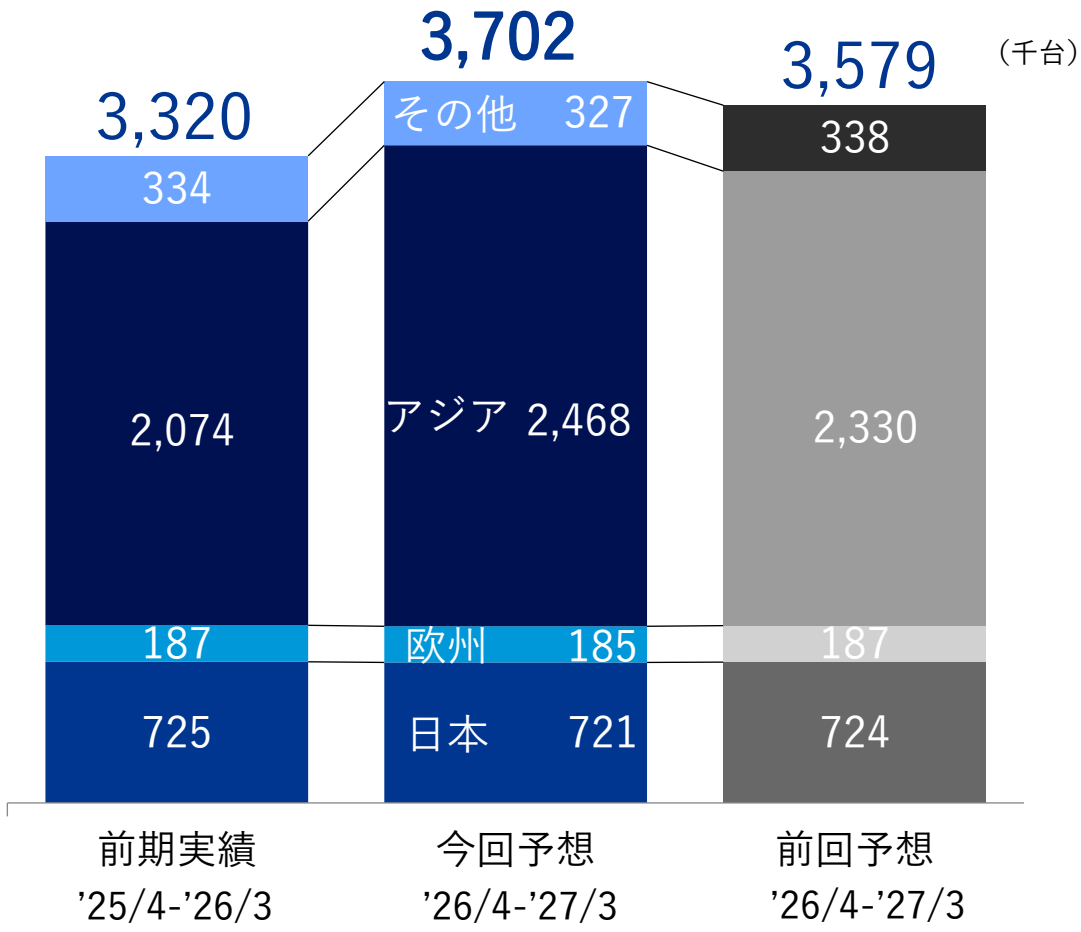
生産台数

3,902千台　前期比　+370千台（+10.5%）
前回予想比　+128千台（+ 3.4%）



販売台数

3,702千台　前期比　+382千台（+11.5%）
前回予想比　+122千台（+ 3.4%）

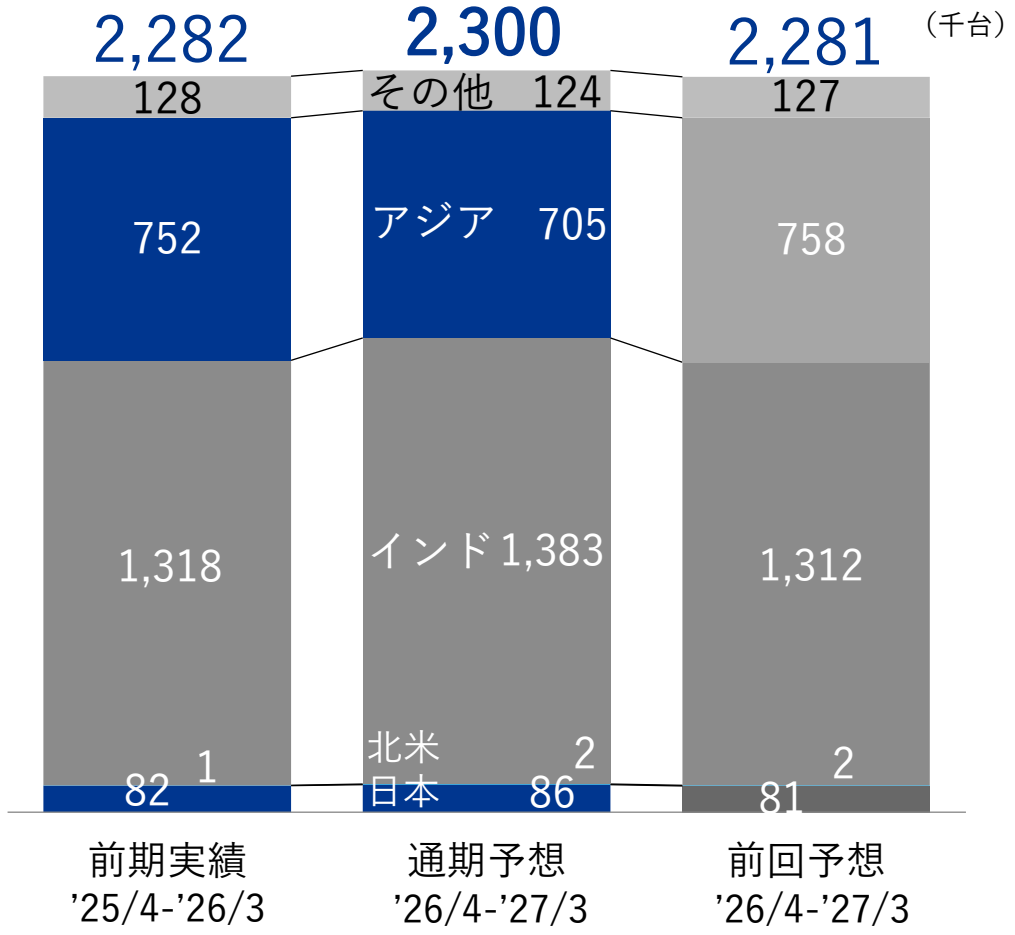


© Suzuki Motor Corporation, 2026. All rights reserved.

通期業績予想｜二輪生産台数・販売台数

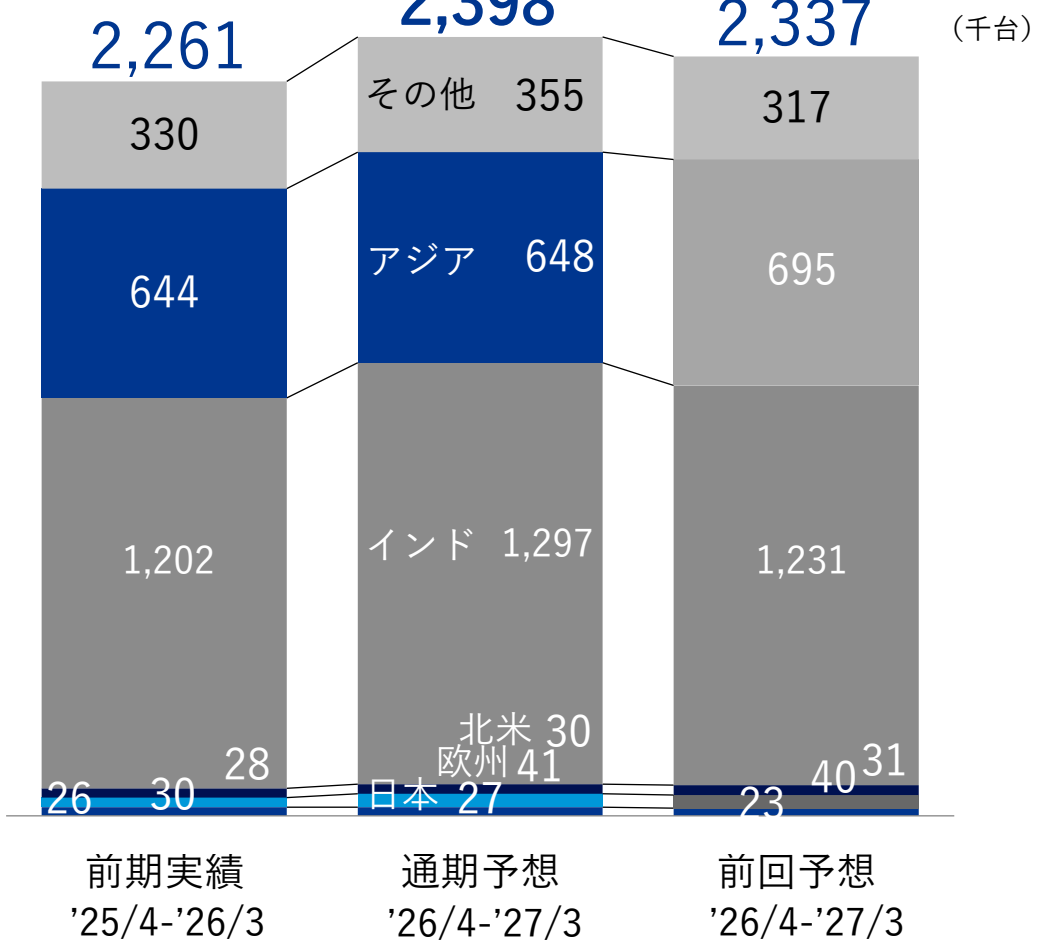
生産台数

2,300千台　前期比　+18千台（+0.8%）
　　前回予想比　+19千台（+0.8%）



販売台数

2,398千台　前期比　+137千台（+6.1%）
　　前回予想比　＋ 60千台（+2.6%）



© Suzuki Motor Corporation, 2026. All rights reserved.

補足資料

2027年3月期 第2四半期決算｜売上収益の状況

(億円)	四輪			二輪			マリン			その他			合　計			増減内訳	
	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	為替影響	台数増減
国内計	7,926	7,558	＋368	94	82	＋11	17	17	＋0	57	63	▲7	8,093	7,721	＋373		▲129
自　社	7,368	7,032	＋336	94	82	＋11	17	17	＋0	57	63	▲7	7,535	7,194	＋341		
ＯＥＭ	558	526	＋32										558	526	＋32		
海外計	22,970	18,323	＋4,647	2,466	2,016	＋449	664	582	＋81				26,099	20,922	＋5,177	＋866	＋4,324
欧　州	3,460	2,665	＋795	293	223	＋70	113	106	＋7				3,867	2,995	＋872	＋298	＋498
北　米	3	2	＋1	174	210	▲36	373	300	＋73				550	511	＋38	＋46	▲48
アジア	15,990	12,461	＋3,529	1,206	1,103	＋103	61	60	＋1				17,257	13,624	＋3,633	＋57	＋3,869
インド	13,907	10,790	＋3,117	913	750	＋162	7	5	＋2				14,827	11,545	＋3,282	▲88	＋3,500
〃以外	2,083	1,671	＋412	294	353	▲59	53	55	▲1				2,430	2,079	＋351	＋145	＋369
その他	3,516	3,195	＋322	792	480	＋312	117	117	＋0				4,425	3,791	＋634	＋466	＋5
総合計	30,896	25,881	＋5,015	2,559	2,098	＋461	681	600	＋82	57	63	▲7	34,192	28,642	＋5,550	＋866	＋4,195
内、為替換算影響			＋625			＋184			＋58						＋866		

注．当期…2026年4月～9月期、前期…2025年4月～9月期、北米…米国・カナダ、北米四輪車…部品用品等

© Suzuki Motor Corporation, 2026. All rights reserved.

2027年3月期 第2四半期決算｜事業別業績、営業利益増減要因

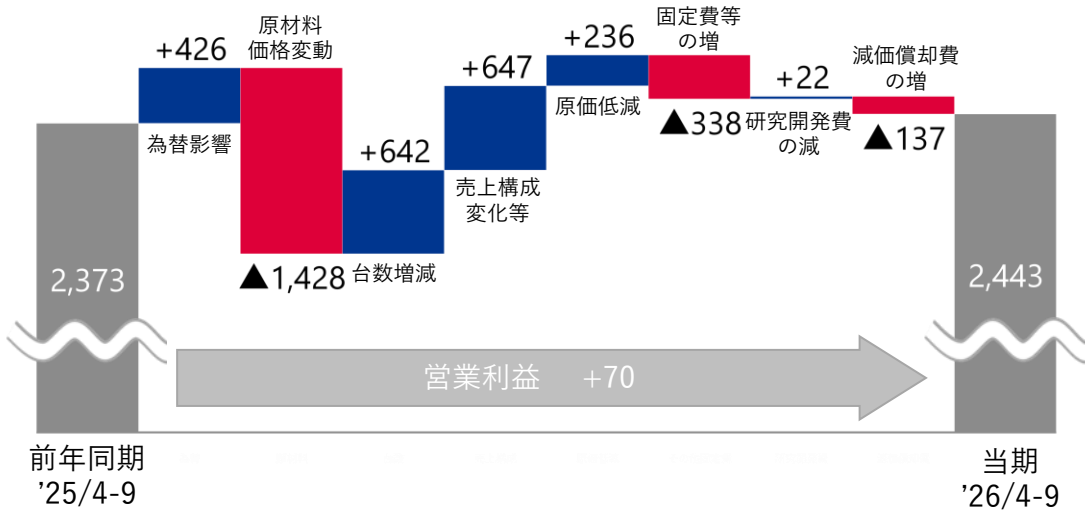
事業セグメント別業績

（億円）

	’26/4-9					’26/7-9				
	売上収益		営業利益			売上収益		営業利益		
		前年比		前年比	利益率		前年比		前年比	利益率
四　輪	30,896	+19%	2,443	+3%	7.9%	15,479	+16%	1,099	▲7%	7.1%
二　輪	2,559	+22%	283	+26%	11.1%	1,315	+25%	139	+42%	10.6%
マリン	681	+14%	175	+18%	25.7%	313	+11%	89	+58%	28.6%
その他	57	▲11%	15	▲20%	26.3%	28	▲8%	8	▲28%	27.4%
連結 計	34,192	+19%	2,916	+5%	8.5%	17,135	+17%	1,336	▲1%	7.8%

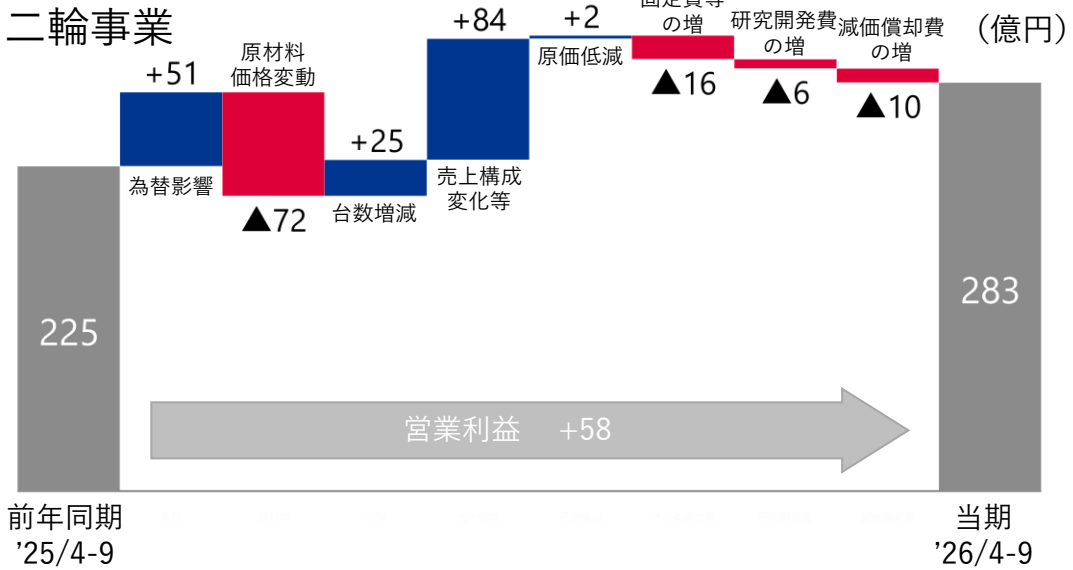
四輪事業

（億円）



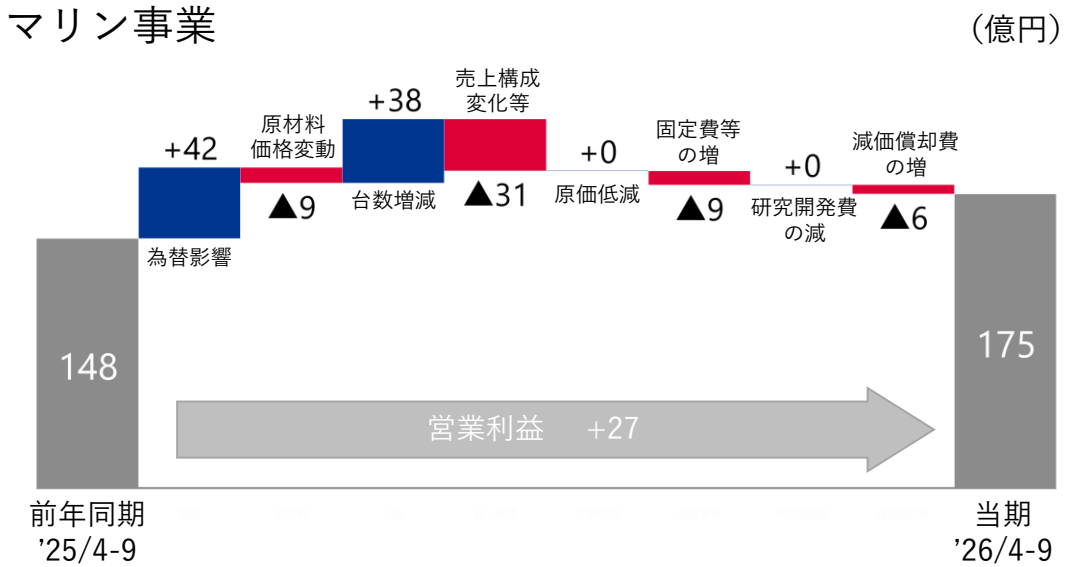
二輪事業

（億円）



マリン事業

（億円）



© Suzuki Motor Corporation, 2026. All rights reserved.

2027年3月期 第2四半期決算｜所在地別業績、営業利益増減要因

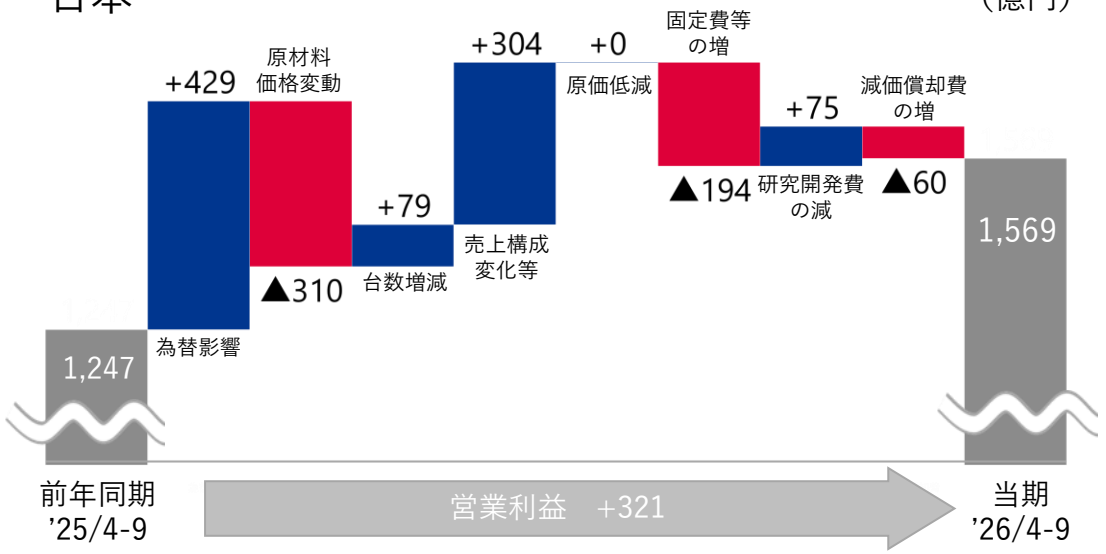
所在地セグメント別業績

（億円）

	’26/4-9					’26/7-9				
	売上収益		営業利益			売上収益		営業利益		
		前年比		前年比	利益率		前年比		前年比	利益率
日　本	16,960	+12%	1,569	+26%	9.2%	8,358	+5%	667	+11%	8.0%
欧　州	3,816	+14%	36	▲49%	0.9%	1,807	+1%	6	▲85%	0.4%
アジア	20,767	+27%	1,110	▲19%	5.3%	10,498	+23%	576	▲22%	5.5%
その他	2,649	+18%	216	+114%	8.2%	1,305	+13%	128	+139%	9.8%
連結計	34,192	+19%	2,916	+5%	8.5%	17,135	+17%	1,336	▲1%	7.8%

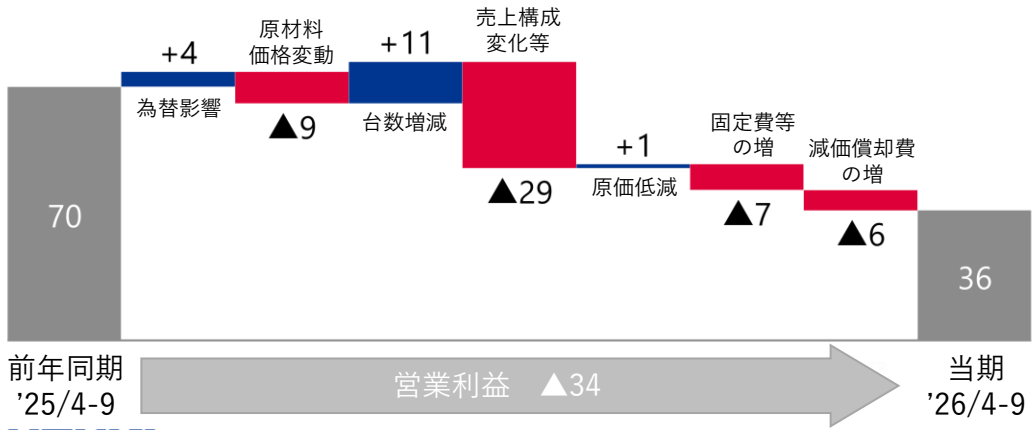
日本

（億円）



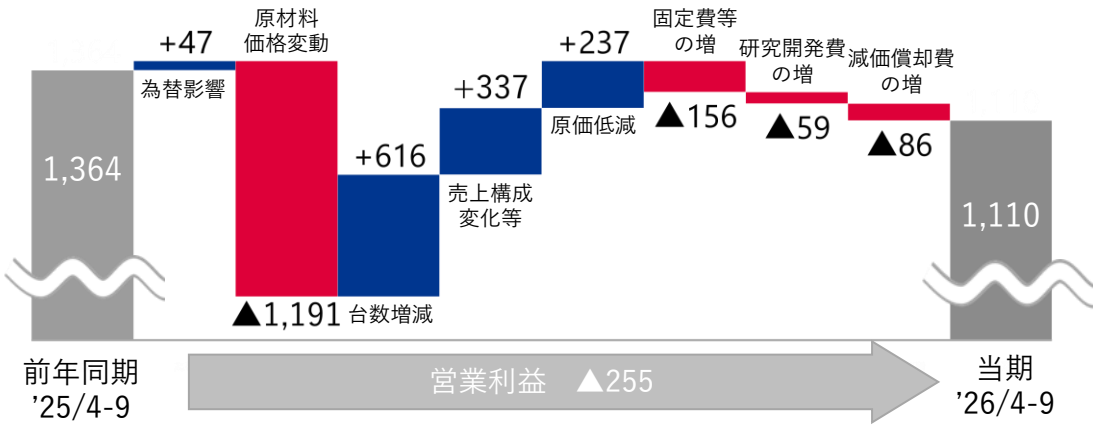
欧州

（億円）



アジア

（億円）



© Suzuki Motor Corporation, 2026. All rights reserved.

2027年3月期 第2四半期決算｜マルチ・スズキ・インディア社の業績

		ルピー建（億ルピー）※1			円換算額（億円）		
		当上期	前年同期	増減	当上期	前年同期	増減
連結業績	売上収益※2	10,058	7,676	＋2,382	16,998	13,050	＋3,948
	営業利益※3 （利益率）	544 (5.4%)	645 (8.4%)	▲101	919 (5.4%)	1,096 (8.4%)	▲177
	税引前利益 （利益率）	766 (7.6%)	928 (12.1%)	▲162	1,295 (7.6%)	1,578 (12.1%)	▲283
	税引後利益 （利益率）	591 (5.9%)	714 (9.3%)	▲123	999 (5.9%)	1,214 (9.3%)	▲215
	為替レート	1.69円	1.70円	▲0.01円			
卸販売	国内販売※4	1,147千台	871千台	＋275千台			
	輸出※4	233千台	207千台	＋25千台			
	合計	1,379千台	1,079千台	＋301千台			

※1 ルピー建は、10月27日付でマルチ・スズキ・インディア社が発表した連結業績値

※2 売上収益＝Sale of products

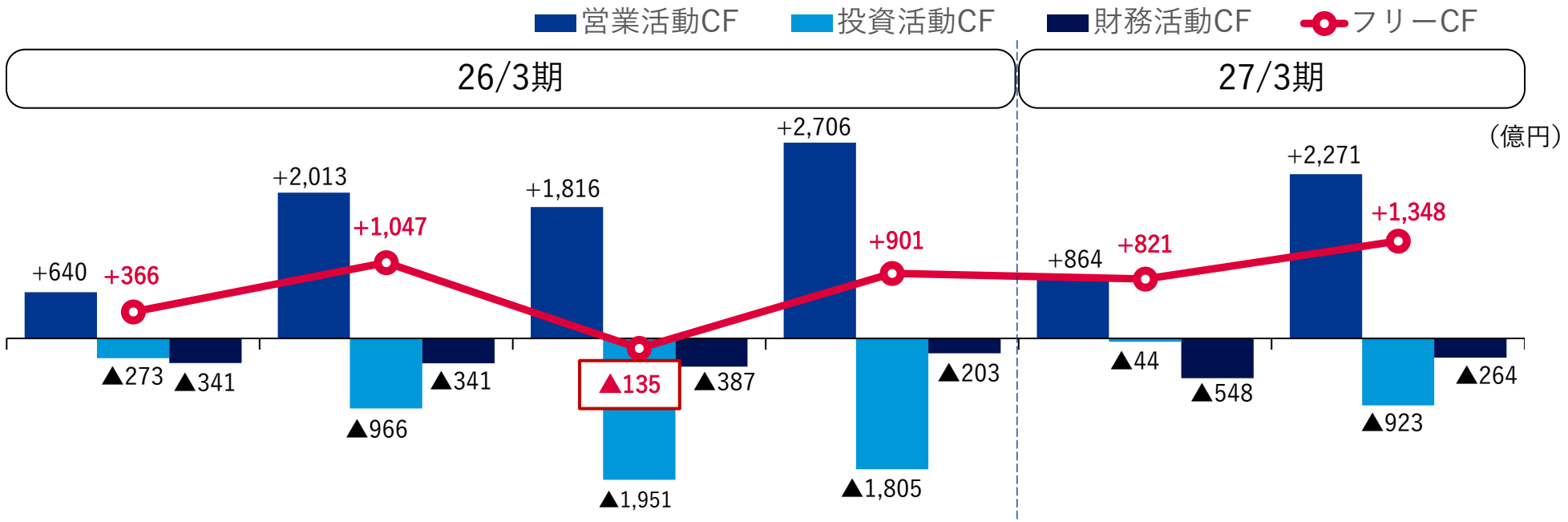
※3 営業利益は次式により算出　営業利益＝ Total Revenue from operations - Total Expenses + Finance costs

※4 国内販売および輸出はＯＥＭを含む

注．マルチ・スズキ・インディア社はＩｎｄＡＳ（インド版ＩＦＲＳ）に基づき会計処理をしており、本数値はあくまでも参考値

© Suzuki Motor Corporation, 2026. All rights reserved.

2027年3月期 第2四半期決算｜連結キャッシュフロー四半期推移



	26/3期				27/3期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
フリーCF	+366	+1,047	▲135	+901	+821	+1,348
財務CF	▲341	▲341	▲387	▲203	▲548	▲264
（内、配当金支払額※1）	(▲406)	(▲301)	(▲429)	(+0)	(▲464)	(▲313)
為替影響	+40	+101	+243	+14	+61	▲164
キャッシュ増減	+66	+808	▲279	+711	+334	+920
キャッシュ残高	8,493	9,300	9,022	9,733	10,066	10,987
ネットキャッシュ	1,136	1,941	1,556	2,247	2,542	3,350
（月商比※2）	(0.2ヵ月)	(0.4ヵ月)	(0.3ヵ月)	(0.4ヵ月)	(0.4ヵ月)	(0.6ヵ月)

※1 非支配株主への配当金の支払額を含む
※2 月商比は、各期の通期売上収益の平均月商をもとに算出

© Suzuki Motor Corporation, 2026. All rights reserved.

2027年3月期 第2四半期決算｜設備投資等

	当期 ('26/4-9)	前期 ('25/4-9)	増 減
設備投資	2,151億円	1,700億円	＋451億円
当社単独	513億円	515億円	▲2億円
子会社	1,638億円	1,185億円	＋453億円
（内、インド）	(1,370億円)	(895億円)	(+476億円)
減価償却費	1,191億円	1,038億円	＋153億円
研究開発費	1,300億円	1,316億円	▲16億円

※ インド：マルチ・スズキ社、 SMIPL社 、TDSG社、SRDI社、Sデジタル社、NBV社 6社の合計
※ 無形資産に係る設備投資、減価償却費は上記の実績値に含まない

	当第2四半期末 ('26/9末)	前年同期末		前期末	
		('25/9末)	増 減	('26/3末)	増 減
有利子負債残高	7,637億円	7,360億円	+277億円	7,486億円	+151億円
連結子会社数	120社	124社	▲4社	121社	▲1社
持分法適用関連会社数	37社	36社	+1社	37社	+0社
従業員数	80,298人	76,819人	+3,479人	76,889人	+3,409人

※ リース負債は上記の実績に含まない

© Suzuki Motor Corporation, 2026. All rights reserved.

2027年3月期 第2四半期決算｜為替レートと為替影響額

	当期 ('26/4-9)	前年同期 ('25/4-9)	前年同期比 増減		営業利益 為替影響 感応度※	営業利益 為替影響 影響額
ユーロ	184円	168円	＋16円	+9.7%	＋10億円	＋162億円
南アフリカランド	9.74円	8.13円	＋1.61円	+19.8%	＋6億円	＋98億円
米ドル	159円	146円	＋13円	+9.2%	＋5億円	＋63億円
メキシコペソ	9.21円	7.66円	＋1.55円	+20.2%	＋4億円	＋60億円
パキスタンルピー	0.58円	0.52円	＋0.06円	+11.5%	＋7億円	＋44億円
オーストラリアドル	113円	95円	＋18円	+19.4%	＋2億円	＋40億円
コロンビアペソ	0.047円	0.036円	＋0.012円	+32.5%	＋23億円	＋27億円
インドルピー	1.69円	1.70円	▲0.01円	▲0.6%	－	＋25億円
その他	－	－	－	－		＋1億円
営業利益 為替影響額　合計						＋520億円

※感応度…レートが１円円安方向に動いた際の営業利益影響額。
ただし、南アフリカランド、メキシコペソは0.1円、パキスタンルピー、コロンビアペソ、インドルピーは0.01円動いた際の、営業利益影響額。

© Suzuki Motor Corporation, 2026. All rights reserved.

通期業績予想｜設備投資・減価償却費・研究開発費

前回予想を据え置き

（億円）	通期予想	前期実績	増減
設備投資	3,800	3,507	＋293
減価償却費	2,400	2,177	＋223
研究開発費	2,800	2,711	＋89

※ 無形資産に係る設備投資、減価償却費は上記の実績・予想に含まない

© Suzuki Motor Corporation, 2026. All rights reserved.

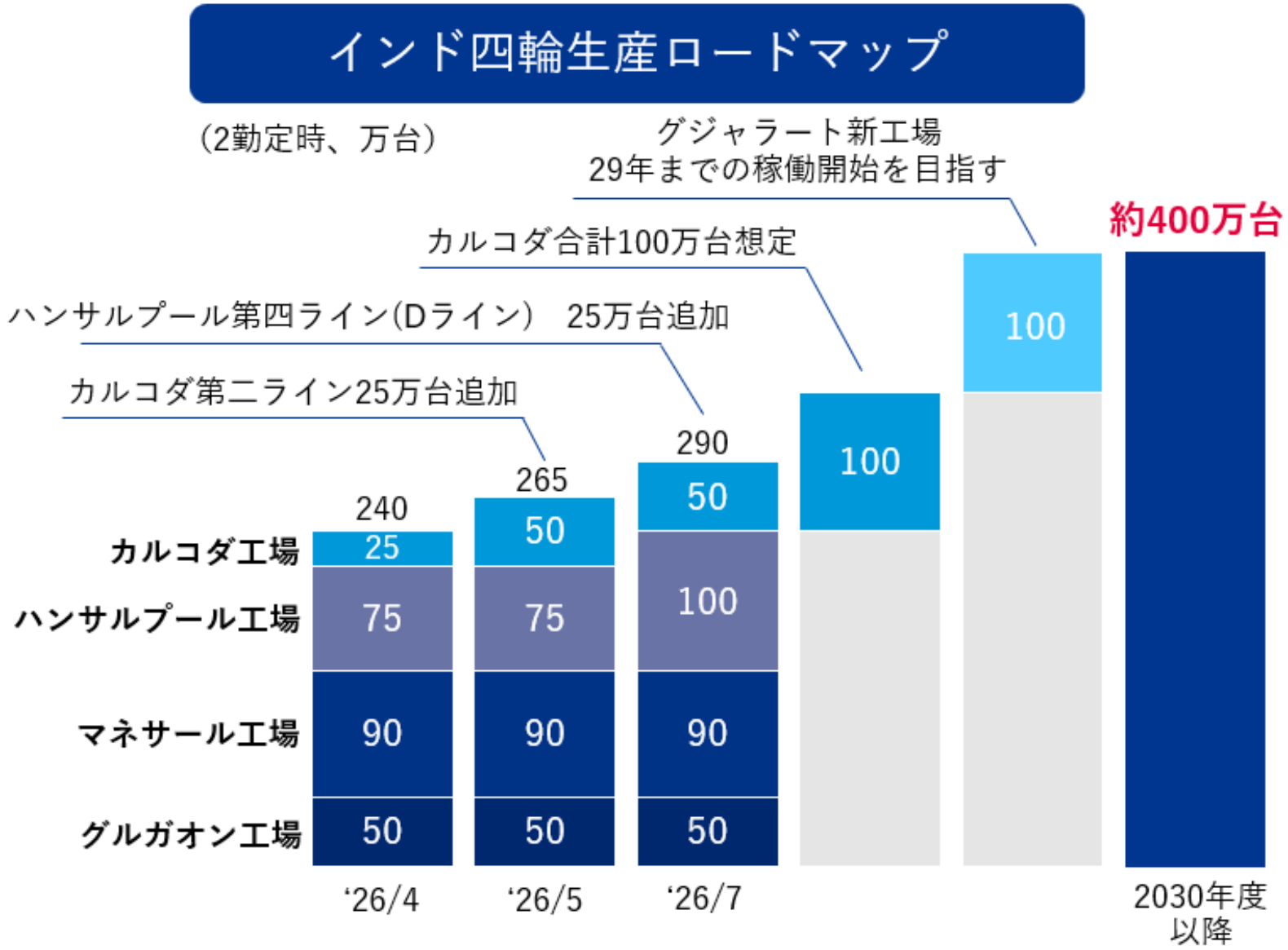
通期業績予想｜為替レートと為替影響額

	通期予想 ('26/4-'27/3)	前期実績 ('25/4-'26/3)	前期比増減		営業利益 為替影響	
					感応度※1	影響額
ユーロ	181円	175円	＋6円	+3.6%	＋18億円	＋117億円
南アフリカランド	9.62円	8.71円	＋0.91円	+10.4%	※1 ＋12億円	＋109億円
メキシコペソ	8.96円	8.16円	＋0.80円	+9.8%	※1 ＋8億円	＋62億円
米ドル	159円	151円	＋8円	+5.5%	＋9億円	＋73億円
オーストラリアドル	111円	100円	＋12円	+11.8%	＋4億円	＋47億円
パキスタンルピー	0.58円	0.54円	＋0.04円	+7.4%	※1 ＋15億円	＋60億円
コロンビアペソ	0.048円	0.039円	＋0.009円	+24.4%	※1 ＋42億円	＋39億円
ポンド	212円	202円	＋10円	+4.8%	＋2億円	＋17億円
インドルピー	1.68円	1.72円	▲0.04円	▲2.3%	※1 ＋28億円	▲75億円
営業利益為替影響額　合計 ※2						＋450億円

※1 感応度…レートが1円円安方向に動いた際の営業利益影響額。
ただし、南アフリカランド、メキシコペソは0.1円、パキスタンルピー、コロンビアペソ、インドルピーは0.01円動いた際の、営業利益影響額。
※2 合計はその他通貨の影響を含む

© Suzuki Motor Corporation, 2026. All rights reserved.

インド｜生産体制の強化



© Suzuki Motor Corporation, 2026. All rights reserved.

2027年3月期　第2四半期決算説明会



2026年11月10日　スズキ株式会社



将来予想に関する注意事項

- このプレゼンテーション資料に記載した将来予想は、現時点で入手可能な情報及び仮定に基づき当社が判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
- 実際には、様々な要因の変化により大きく異なることがありえますことをご承知おきください。
- 実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済情勢及び需要の動向、為替相場の変動などが含まれます。